

食道癌（術前・術後） F P療法（800/80）（ホップ）

患者ID： @PATIENTID

RT： 無

コース目

患者氏名： @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
HEIGHT01_Doc	\$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール： 1コース 21日間 2回治療予定

使用基準： class A

指示1： 尿量測定 毎日

指示2： 体重測定 毎日起床時

指示3： 利尿剤投与指示 以下条件でフロセミド1A iv

Day1 開始から21時（約10時間）の尿量≤800mL

Day2 治療開始より24時間までの尿量≤2000mL

Day3～終了翌日 治療継続中における24時間の尿量≤1500mL

化学療法開始直前と比べて2kg以上の体重増加があり、利尿剤未使用

注意： Day5以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること
《使用薬剤》

シスプラチン；（CDDP）：シスプラチン注（50mg/100mL/V、10mg/20mL/V）

フルオロウラシル：フルオロウラシル注（250mg/5mL、1000mg/20mL）

投与量：

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
シスプラチン	80 mg/m ²	#VALUE!		1
フルオロウラシル	800 mg/m ²	#VALUE!		1～5

<< タイムスケジュール：開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

Day1 1月1日（水）

④ 側管 ※コアレスニードルセットにセイフポートを接続して投与開始

0時00分 ① 生理食塩液 500mL

2時間で点滴静注

1時15分 ④ 内服 アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) シスプラチン開始1時間前頃

2時00分 ② 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 9.9mg

15分で点滴静注

2時15分 ③ 生理食塩液 700mL + シスプラチン 0mg

2時間で点滴静注

0.0mL

4時15分 ④ 生理食塩液 50mL

フラッシュ（材質別側管より開始し、終了後材質別側管を抜去）

4時20分 ⑤ 生理食塩液 185mL + フルオロウラシル 0mg

ホップにて120時間持続投与（セイフポート材質別に接続）

0.0mL

⑤' 生理食塩液 500mL

2時間で点滴静注（セイフポート側管から⑤と同時に開始）

6時20分 ⑥ ソリタT3号 500mL

2時間で点滴静注（セイフポート側管から⑤' 終了後より開始）

Day2～5 1月2日（木）～ 1月5日（日）

起床後 ④ 内服 イメンドカプセル 80mg 1×(2) 起床後

④ 側管

0時00分 ① 生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg

15分で点滴静注（セイフポート側管から投与）

0時15分 ② 生理食塩液 500mL × 3

6時間（2時間×3）で点滴静注（セイフポート側管から①終了後より開始）

Day6 1月6日（月） 0時00分頃 点滴終了後、ヘパフラッシュを注入し、抜針する。

REFERENCE

Nobutoshi Ando, Toshifumi Iizuka, Hiroko Ide, et al

Surgery Plus Chemotherapy Compared With Surgery Alone for Localized Squamous Cell Carcinoma of the Thoracic Esophagus: A Japan Clinical Oncology Group Study-JCOG9204. J Clin Oncol 21:4592-4596, 2003

化学療法プロトコール審査委員会承認：2009年10月28日（FP）、2014年10月20日（ホップ） 更新：2016年7月14日